

授業科目名 <英訳>	西洋史学(講読) European History (Seminars)			担当者氏名	人文科学研究所 准教授 伊藤 順二				
配当学年	2回生以上	単位数	4	開講期	通年	曜時限	火3	授業形態	講読
題目	露書購読								
【授業の概要・目的】									
ロシア革命前の各種史料の講読を通じて、ロシア語の一般的読解力を向上させるとともに、公文書や書簡等の文体にも習熟させる。									
【授業計画と内容】									
以下の書簡集から、特にサハリン島（樺太）や日本関係の部分をテキストとする予定である。									
" " : , 1893-1917 , 1996.									
著者は社会主義者としても人類学者としても日本との関係は深い。またポーランド独立運動にも関わっている（ポーランド共和国初代国家元首は、著者の弟である）。									
ただし、受講者の希望によってテキストを変更する可能性もある。 受講人数にもよるが、毎回1頁程度、一人あたり数行～十数行ずつの割当てで進行する。									
【履修要件】									
特にないが、ロシア語初級を習得していることが望ましい。									
【成績評価の方法・基準】									
期末テストはおこなわない。出席と予習の精度による。									
【教科書】									
プリントを配布する。									
【参考書等】									
（参考書） 露和辞典は研究社出版のものを所持していることが望ましい。									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
オフィスアワーは、金曜3限とする。									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									